

社長メッセージ

「最高の安心」と「最大の満足」をお届けする生命保険会社を目指して

平素より大同生命をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

平成25年度の日本経済は、雇用・所得環境が改善するなか個人消費が底堅く推移したほか、企業収益の改善を背景に設備投資が持ち直すなど、年間を通して緩やかに回復してまいりました。

生命保険業界におきましては、新契約高は前年度をやや下回ったものの、減少傾向が続いていた保有契約高はほぼ前年並みとなっています。また、資産運用環境につきましては、国内長期金利が引き続き低位で推移したものの、国内株式は景気の回復基調により年度始から上昇しました。

一方で、少子高齢化の進展、お客さまニーズや販売チャネルの多様化等により、商品・サービス競争はますます激しくなることが予想されます。

このような情勢のなか、当社は、「より多くの中小企業のみなさまを様々なリスクからお守りする」という使命を全うするため、「適切な収益・リスク・資本管理と経営資源の配分により、外部環境に左右されない強固な経営基盤を構築するとともに、企業価値のさらなる増大に向けた新たな挑戦を通じて、“安定的・持続的な成長”をより確かなものとする」という中期経営計画（平成26・27年度計画）の全体方針に基づき、以下の施策に重点的に取り組んでおります。

①コアビジネスのさらなる強化

中小企業経営者のさまざまなニーズにお応えする商品の提供等を通じ、「コアマーケットのさらなる深耕」と「新たなマーケットの創出・拡大」に取り組んでまいります。

その一環として、重大疾病（がん・急性心筋梗塞・脳卒中）に罹患された場合の「事業継続の危機」に対応する商品「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」を発売し、多くのお客さまからご好評いただいております。このほかにも、入院による一時離職に備える「Mタイプ（無配当総合医療保険）」、経営者個人の相続対策や資産形成に有効な「ライフギフト（無配当一時払終身保険）」など、中小企業経営者・個人事業主のみなさまの様々なリスクを“トータルに保障”する商品の開発・お客さまサービスの向上に積極的に取り組んでまいります。



②さらなる“業務革新”の推進

「募集活動、契約手続き、アフターサービス、お支払い」等、お客さまと関わるすべてのプロセスにおきまして、新たなIT技術を活用した業務革新に取り組み、より高品質で効率的なお客さまサービスの提供態勢を構築してまいります。

③安定的な資産運用収益の確保

収益・リスク・資本の一体的な管理のもと、資産運用収益の向上と安定的な確保を目指してまいります。

これからも、経営基盤の一層の強化等を通じて、36万社にのぼるご契約企業をはじめとするみなさまのご負託にしっかりと応えするとともに、「加入者本位」「堅実経営」という創業時からの企業理念を守り、「最高の安心」と「最大の満足」をお届けできる会社であり続けられるよう、全役職員が一丸となって一層努力してまいります。

今後とも、何とぞご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年7月

取締役社長

喜田哲弘